

令和8年度久々野小学校 学校経営の全体構想

【高山市教育の方針と重点】

未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成
「授業・活動のキーワード」
『主体的・対話的で深い学び』
～対話から議論へ！より深い学びへ～
一人ひとりに合った学びの実現

【学校の教育目標】

かしこく
なかよく
たくましい 久々野っ子

【学校課題】

- ◆自分の考えを持ち、仲間とともにより考えを深め、発信する子の育成
- ◆一人一人の違いを認め、周りの人を大切にする子の育成
- ◆なりたい自分に向かって、ひたむきに粘り強く努力する子の育成

＜育てたい資質・能力＞「自分で考え行動し 対話を通して高め合い たくましく生きる力」

＜学習指導の重点＞

「自分で」

～自分の言葉で話そう～

- ・誰もが自分の考えをもつために必要な足場づくり
- ・考えをより深めるための対話形態づくり
- ・議論につながるために、明確な視点をもった教師の精選された一言づくり
- ・自分の言葉で表現するための終末の工夫

＜読書＞

- ・発達段階に応じた本の精選と読書活動の推進（朝読書・読み語りの充実）

かしこく

＜生活指導の重点＞

「仲間と一緒に」

～自分や学校のじまんをつくろう～

- ・一人一人はみな違うことを理解し、お互いの良さを認め合う活動の充実
- ・自分から進んで気持ちのよいあいさつの推進
- ・清掃活動の充実
- ・自分の言葉で最後まで語る表現力の育成と場の設定

＜縦割り活動＞

- ・発達段階に応じたリーダーの育成
- ・誰もが安心できる縦割り活動の充実

なかよく

たくましい・・・相手の立場を尊重しながら、自分の言葉で発信できる

＜命を守り切り、児童、教職員ともに心身が満たされた状態の学校＞

- ・いじめ・差別・暴力を絶対に許さない体制と、即日に誠実な対応
- ・保中と地域と連携した命を守る活動の継続（命を守る訓練・引き渡し訓練）
- ・特別支援教育の充実と全教職員による支援体制の確立（低学年の言語指導を中心に）
- ・継続した体力づくりや遊びを通して健康な身体づくり（業間休み・縦割り活動）
- ・規範意識を高く持ち、子どもたち、保護者や地域の方々から信頼される教職員集団
- ・「子どもたちのために」と「自分の生活やキャリアアップ」を両立した温かい職場環境

久々野っ子・・・「久々野の景色(地域での活動・地域の温かさ)」に思いをよせ、地域と共に歩む子

＜郷土教育＞郷土教育の確かな実践とカリキュラムの充実

＜地域の願い・学校運営協議会＞・育てたい子どもの姿：地域や人を大切にするたくましさのある子

- ・安心安全を確保する地域人材との連携
- ・学びを支える地域人材の活用
- ・保育園・中学校・支所・まちづくり協議会等との協力と連携

＜保護者の願う子どもの姿と学校への期待＞

- ・あいさつができ思いやりのある子
- ・素直で相手の気持ちを考えられる子
- ・最後までやりきる子
- ・社会性があり、自分で考え行動ができる子
- ・生まれ育った久々野とそこに住む人を大切に思う心をもつ子
- ・安心、安全で、子育てについて保護者と一緒に考える学校

教職員一人ひとりがワーク・ライフ・バランスの充実 心身ともに健康的に働く職場